

活動名:第 18 回 NAC カップ
日程:平成30年6月30日～7月1日
会場:小野町町営多目的グラウンド
参加:L100 クラス 12 名
帯同:佐藤コーチ
結果:5位/12 チーム中
報告:佐藤

予選リーグ
アーレ 5-1 リガーズ FC
アーレ 0-3 緑ヶ丘 SSS

2位トーナメント
アーレ 3-0 小野 FC
アーレ 4-0 富田

6月30日、7月1日に行われました NAC カップに U10 と U12 が参加し、私は U12 を帯同いたしましたので、報告させていただきます。
今回の大会について L100 のメンバーでのぞむにあたり、どのようにしていけば選手たちの力を発揮できるか考えました。

試合が開始する前に選手たちに話したことは

- ボールを持っている相手に対してプレッシャーを厳しくする。
- ボールを奪った後のプレーで正確につなぐ、もしくはハッキリとしたプレーをする

でした。

ボールを持っている相手選手に対しては良いプレッシャーをかけることができていたと思います。相手もその厳しさに思うようなプレーができていませんでした。ただ、浮き玉の処理が遅かったり、ボールを浮かしたままにしておさめることができていなくて自分たちのボールなのに相手に奪われてしまう、もしくは五分五分のボールになってしまう危ない場面というものがありませんでした。そこからの失点もありました。ボールコントロールを高め、意識して扱いやすい状況でつないでもらいたいと思います。

ボールを奪った後ですが、相手のプレッシャーが弱いときには落ちついたプレーができていました。しかしながら、プレッシャーが厳しくなったときに、トラップがみだれて自分たちのボールに仕切れない場面が続いてしまいました。あわせてボールを持っているその周りの選手たちが止まっていてマークをはずせていなかったり、近すぎたりと準備ができていませんでした。ボールを持っていないときに良い動きをすることによって余裕を持ってボールを扱うことができます。フィールドにいるでている8人みんなが次のことを考えているかどうかです。これからの練習、試合で磨いていってほしいと思います。

全体的な課題は

- 相手チームの選手のプレッシャーが早い中でも正確なトラップ、パス、ドリブルができるようになること
 - ボールを持っていないとき考えて動くこと
- だと思えます。

2日間非常に暑い気温が続きましたが、みんな集中を切らさず、プレーしていたと思いますし、全力を出し切る気持ちが伝わってきました。5年生たちも試合を重ねるごとに積極的なプレーがでてきていました。6年生の中でも遠慮なく自分の気持ちを出してプレーしていきましょう。

ご父兄の皆様、暑い中の応援ありがとうございました。そして選手たちをあたたく見守っていただいていることを感じましたし、選手たちはとても心強く感じていたと思います。これから大会、遠征と続きますが、よろしく願いいたします。

最後にこの大会を開催していただきましたNAC様、木内代表をはじめ小野FCの皆様、に感謝いたします。夏のはじめでのこのような機会はとても貴重ですし、運営におかれましても様々な配慮をしていただきました。ありがとうございました。また、今後もよろしく願いいたします。

コーチ：佐藤







